

令和3年5月31日

第323号

[発行] (公社)神奈川労務安全衛生協会藤沢支部
支部長 T O T O 株式会社 茅ヶ崎工場
編集 藤沢支部広報部会
<http://www.roaneikyo.or.jp/shibu/fujisawa/index.htm>

2021年度 通常支部総会開催される

2021年5月11日(火) 於: 藤沢商工会議所ミナパーク6階多目的ホール



(公社)神奈川労務安全衛生協会藤沢支部の通常支部総会は49社出席の下、217社の委任状を合わせ支部規約第20条、総会員数の2分の1以上の確保を以って成立し、開催されました。

来賓に藤沢労働基準監督署より長瀬署長をはじめ、協会本部より古屋事務局長を迎える、岩井支部長による開会挨拶をいただいた後、第1号議案から第4号議案まで滞りなく決議承認されました。

続いて「無災害事業場表彰」が行われました。これは平成30年～令和2年の3年間の無災害の達成事業場へ贈るもので、本年度は5事業場が対象となり、内4事業場代表者の出席を賜り、岩井支部長より表彰状が授与されました。

続けて、藤沢支部の功労者5名に対して「支部功労者表彰」が行われました。

その後、来賓を代表し、長瀬署長より祝辞をいた

だき、最近の労働行政の課題についてお話をいただきました。まず、令和3年度の神奈川労働局の重点施策である、雇用の維持と働き方改革の推進の2点について、各事業場に協力を要請されました。次に、休業災害についてお話しいただき、昨年藤沢署管内では休業災害が709件発生して、前年比で100件以上の増加となったことや、今年も4月末現在で休業災害が179件発生して、昨年よりもさらに増えている状態であるため、災害防止について各事業場に協力を要請されました。最後に本協会藤沢支部、ならびに本日参加の皆様のご健勝を祈念したいと述べられました。

閉会挨拶は通山副支部長の辞で本総会を締めくくりました。

〈広報部会: 中外製薬(株)鎌倉事業所 赤塚直徳〉

2019年度／2020年度 支部功労者表彰

藤沢支部では、支部の活動に大きな貢献のあった方に、毎年功労者表彰を行っております。2019年度の表彰が新型コロナウイルスの関係で延期されたため、2年分の表彰をご報告いたします。



2019年度(2020年12月10日(木) 役員会にて)

(下段左より、敬称略)

(株)東京ゴム製作所 鶴野 和良
(株)神戸製鋼所藤沢事業所 日比 弘幸
J X 金属(株)倉見工場 郷原 豪
プレス工業(株)藤沢工場 浦上 浩(欠席)
(株)荏原製作所藤沢事業所 石原 恵美(欠席)
写真上段は、左から、通山副支部長、岩井支部長、藤沢労基署
黒澤前署長、小野安全衛生課長



2020年度(2021年5月11日(火) 通常支部総会にて)

(表彰状を持っている下段左より、敬称略)

T O T O (株)茅ヶ崎工場 高橋 明彦
アズビル(株)藤沢テクノセンター 平山 剛
三菱プレシジョン(株) 濑戸 典男
東邦チタニウム(株) 梅澤 一久
敷島製パン(株)パスコ湘南工場 山口 稔(欠席)
同席の方は、前列中央左より、藤沢労基署長瀬署長、岩井支部長、後列左より石田支部長代行、協会本部古屋事務局長、藤沢
労基署小野安全衛生課長、通山副支部長、森副支部長代行

〔令和3年度 (公社)神奈川労務安全衛生協会藤沢支部スローガン〕

ゆとりある気持ちが繋がる安全職場
ゆとりある心で繋がる健康職場 皆でつくろう快適職場！

就任のご挨拶

藤沢労働基準監督署
署長 長瀬 徹也



令和3年4月1日付けで藤沢労働基準監督署に就任しました長瀬と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。

神奈川労務安全衛生協会藤沢支部の会員事業場の皆様には、日頃から労働基準行政の推進につきまして格別なご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

藤沢労働基準監督署の勤務は初めてになります。鎌倉、江ノ島といった観光地を抱える魅力的な地域で勤務できることを幸せに思っています。

ところで、令和2年に藤沢労働基準監督署管内で発生した休業4日以上の労働災害発生件数は、709件、死亡災害は4件といずれも令和元年（平成31年）を大きく上回る結果となりました。

新型コロナウイルス感染症に罹患したことによる休業件数を除いても678件ですので前年に比べて100件以上増加している状況にあります。

また、令和3年も3月末現在の数値ではありますがこれも前年に比べて57件増加の134件となっており、非常に憂慮される状況にあります。

本年度は第13次労働災害防止推進計画の4年目にあたります。監督署としても労働災害の発生件数の減少という目標に向けてなお一層各種災害防止対策に取り組む所存ですので会員事業場の皆様におかれましてもご協力を願います。



就任のご挨拶

藤沢労働基準監督署
副署長 多田 義信



令和3年4月1日付けで藤沢労働基準監督署副署長を拝命しました多田と申します。

神奈川局での勤務も長くなり、藤沢署での勤務は2回目となります。前回の勤務は18

年ほど前になりますが、その頃と比べますと工場跡地等の郊外に大型ショッピングモール等が進出し、横浜環状南線、横浜湘南道路の整備が進められる等、利便性が向上しておりこれから益々発展する可能性がある地域であると感じているところです。

さて、今年度の労働行政の大きなテーマですが、「ウィズコロナ時代に対応した労働環境の整備、生産性の向上の推進」として、良質なテレワークの導入・普及促進、職場における感染防止対策の推進、働き方改革の実現に向けた取組、労働者が安全で健康に働くことができる環境の整備、迅速適正な労災保険の給付等を挙げ

ております。

また、近年改正のありました「時間外労働の上限規制、賃金請求権の消滅時効の延長、年次有給休暇の5日取得義務」等の事項についても、その定着を目指し、周知を引き続き行なっていきます。

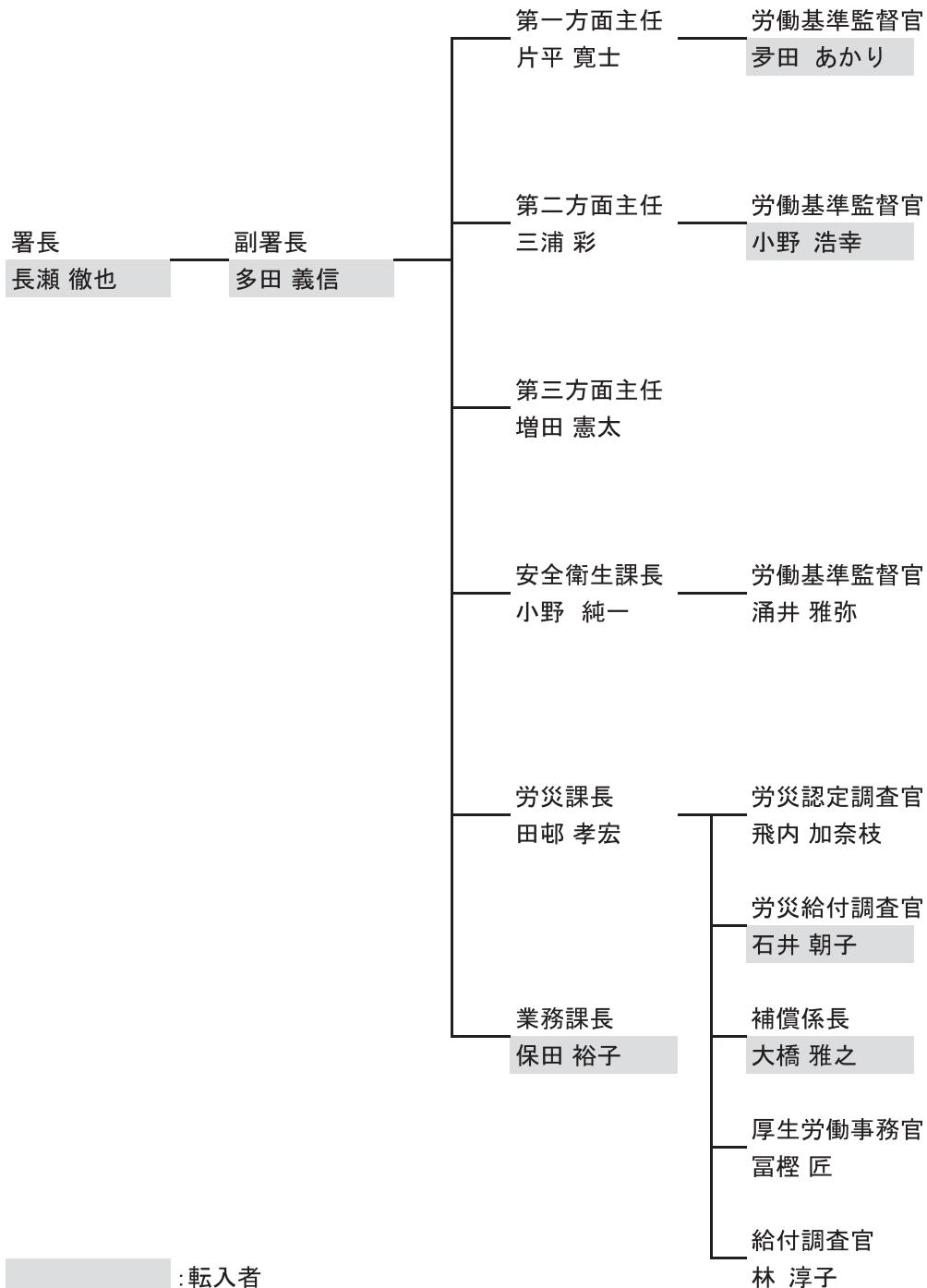
昨年度以降、新型コロナウイルス感染症による多大な悪影響を受けた方々も多くおられることと思いますが、一方でテレワーク等、IT、デジタル関連に係る投資等を含めた分野について活況化している側面も見受けられるところです。

こうした情勢の中、従来からの取組と同様、新たな取組につきましても、貴協会並びに会員事業場の皆様方のご協力を得て、施策の推進を図って参りたいと思います。一年間、どうぞよろしくお願ひいたします。

藤沢労働基準監督署からのお知らせ

令和3年4月1日付けで当署の組織が下記のとおりになりました。

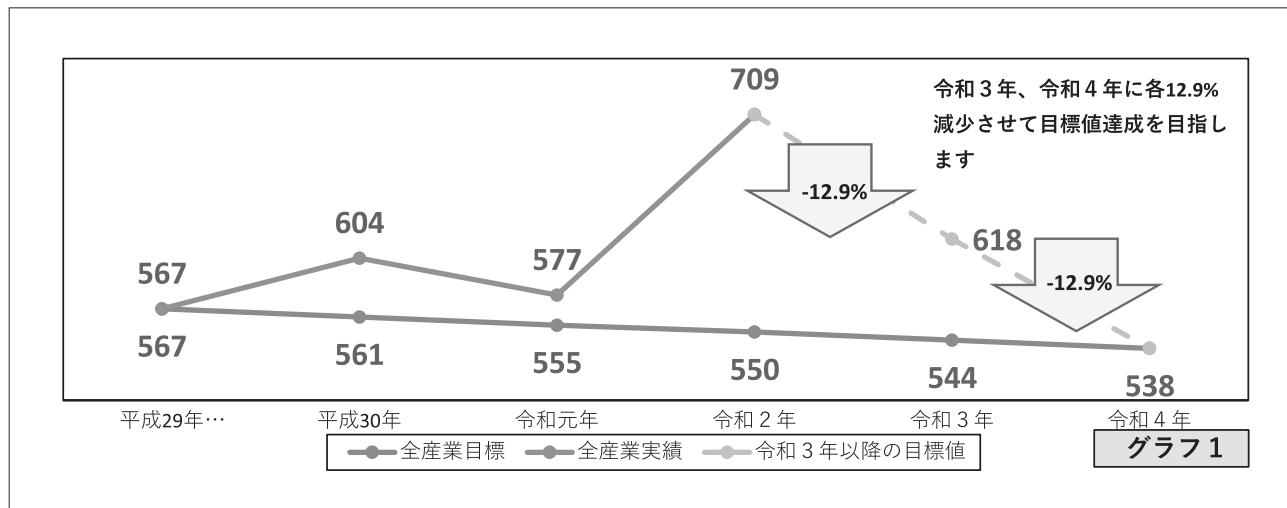
【藤沢労働基準監督署組織図】



連絡先 藤沢労働基準監督署
〒251-0054 藤沢市朝日町5-12 藤沢労働総合庁舎3階

◇方面（監督・労働条件関係）	0 4 6 6 - 2 3 - 6 7 5 3
◇安全衛生課（安全衛生関係）	0 4 6 6 - 9 7 - 6 7 4 8
◇労災課（労災保険関係）	0 4 6 6 - 9 7 - 6 7 4 9
◇総合労働相談コーナー	0 4 6 6 - 2 3 - 7 2 2 3
FAX	0 4 6 6 - 2 3 - 4 2 8 8

藤沢労働基準監督署管内における 第13次労働災害防止推進計画の進捗状況(全産業・令和3年4月)



第13次労働災害防止推進計画は、令和4年までに平成29年の休業4日以上の死傷災害を5%減少させることを目標に、各事業場において災害防止の各種取組をお願いしています。平成29年の休業4日以上の死傷災害567件を令和4年に538件に減少させることを目標としています。

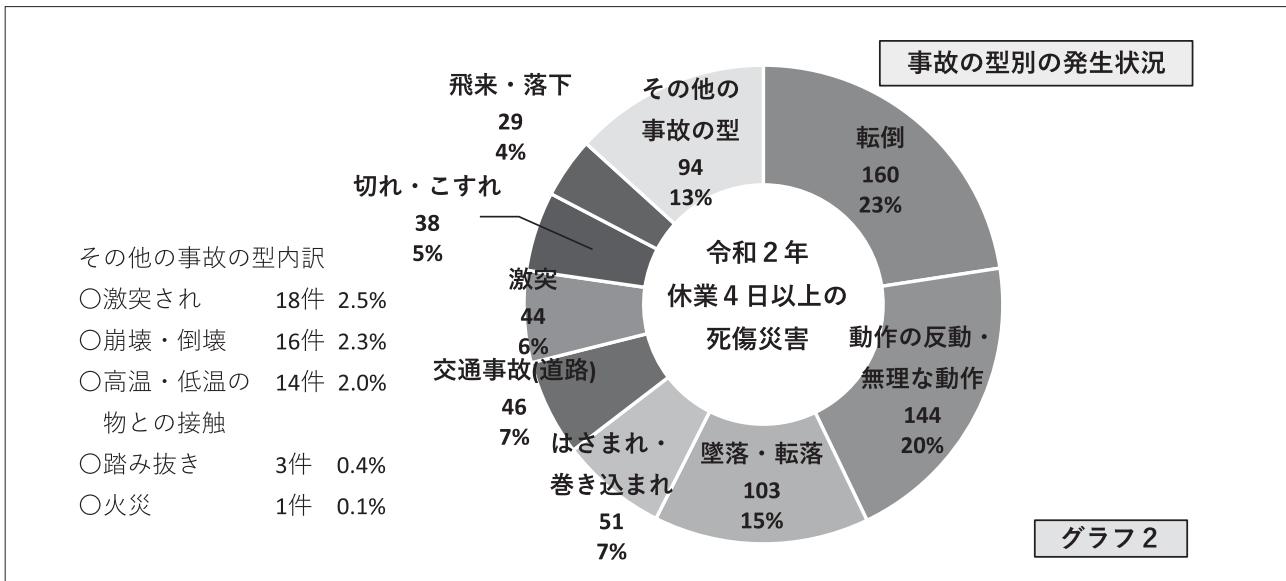
平成30年は604件、前年比37件増加（前年比6.5%増加）、令和元年は577件、前年比27件減少（前年比4.5%減少）となり、令和2年は709件、前年比132件増加（前年比22.9%）となっています。（グラフ1）

令和2年は、新型コロナウイルス感染症による報告31件を含みますが、大幅な増加となり、700件を超えるのは、平成8年の708件以来で、20年以上前の水準の災害発生件数となりました。

今後は、減少目標を見直し、令和3、4年に毎年12.9%の減少を図り、目標の達成を目指します。

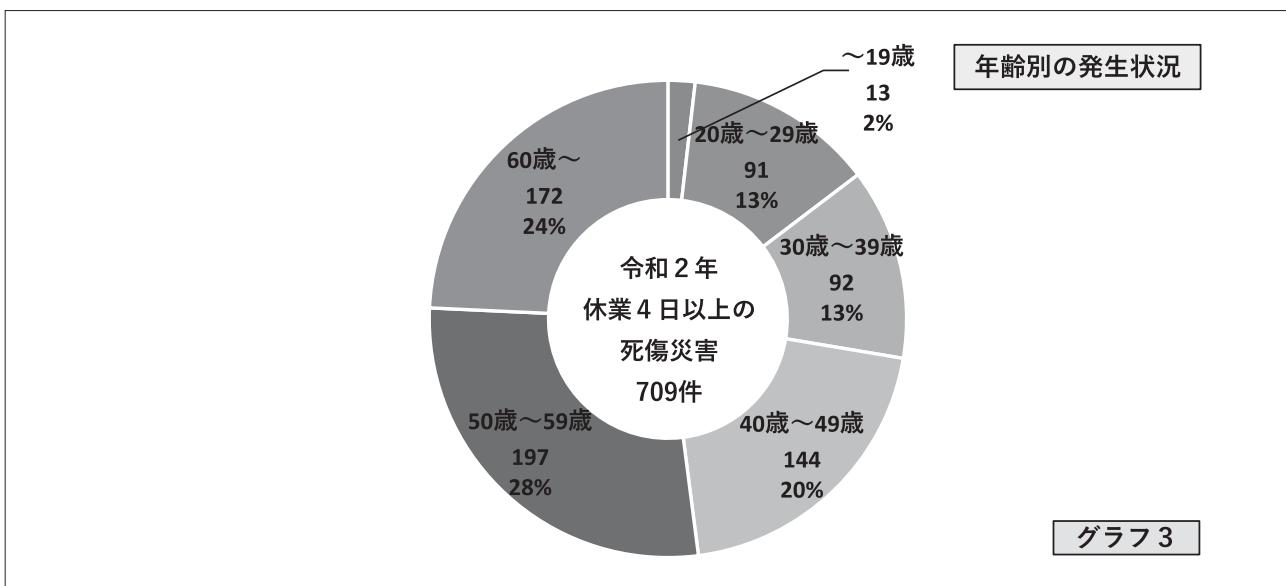
事業場における安全衛生管理活動が3密を回避するなどの制約を受け、従前の取組ができない状況にあると思いますが、令和4年の目標値538件に向け、工夫をしていただいた取組が必要です。

業種別		第12次防 期間中の 死傷災害	平成29年 死傷者数 (基準年)	減少 目標	第13次労働災害防止推進計画							
					平成30年		令和元年		令和2年		令和3年	
					目標値	確定値	目標値	確定値	目標値	暫定値	見直し 目標値 減少率	見直し 減少率
全産業 (対前年増減割合)	死亡災害	2,831	567	5%減少	561	604	555	577	550	709	618	538
	死傷災害				-1.0%	6.5%	-1.0%	-4.5%	-1.0%	22.9%	-12.9%	-12.9%
製造業	死亡災害	4	0	15%減少	0	0	0	0	0	0	0	0
	死傷災害	469	93	10%減少	91	105	89	90	87	86	84	83
建設業	死亡災害	3	0	15%減少	0	1	0	1	0	2	0	0
	死傷災害	357	60	10%減少	59	65	58	60	56	86	68	54
陸上貨物運送事業		255	63	5%減少	62	60	62	64	61	65	62	59
第三次 産業	小売業	467	95	5%減少	94	103	93	81	92	122	105	90
	社会福祉	276	52	5%減少	51	63	51	60	50	108	73	49
	飲食店	177	41	5%減少	41	32	40	29	40	39	39	38



グラフ 2 の令和 2 年における事故の型別発生状況では、転倒は 160 件（23%・前年比 42 件増）と最も多く、次いで、動作の反動・無理な動作 144 件（20%・前年比 36 件増）、墜落・転落 103 件（15%・前年比 1 件増）の順となっています。この 3 つの事故の型の災害で、407 件・57.4% となり、半数以上を占めています。

加えて、転倒災害は 35.6% の増加、「動作の反動・無理な動作」災害は 33.3% の増加と前年に比べて増加率が顕著です。このため、転倒災害については、「STOP！ 転倒災害プロジェクト」、動作の反動・無理な動作については、腰痛災害が主となりますので、「職場における腰痛予防対策指針」を参考に積極的な取組をお願いいたします。また、墜落・転落災害については、法令に基づく高所における墜落防止措置の徹底を講じてください。



グラフ 3 の令和 2 年における年齢別の死傷災害発生状況では、50 歳代が 197 件（前年比 52 件増）と最も多く、次いで、60 歳以上が 172 件（前年比 28 件増）、40 歳代が 144 件（前年比 5 件増）の順となっています。

40 歳以上の被災者数は 513 件で、72.4% とほぼ災害件数の 4 分の 3 を占める状況となっており、50 歳代で、対前年比 35.9% 増と増加率が顕著になっています。高年齢労働者が職場で活躍される状況も増えつつあることから、「高年齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン（エイジフレンドリーガイドライン）」を参考に高年齢労働者に配慮した職場環境、作業の改善を進めていただくことが重要です。

2020年 藤沢支部無災害事業場 紹介

藤沢支部では、過去3年以上無災害を継続している従業員100人未満の会員事業場を対象に、申請に基づき、毎年表彰しております。2020年は5つの事業場が、5月11日の通常支部総会で表彰されました。

【写真、表彰状を持っている方の左より】

UTパベック株式会社 プロダクトサービス本部 湘南事業所	石口 壮一様
コワーテック株式会社 湘南事業所	松田 勝也様
有限会社山下鋳金工業	戸川 貴義様
東京応化工業株式会社 湘南事業所	中島 哲矢様
カントーテクノ株式会社(欠席)	



同席の方は、前列中央左より、藤沢労基署長瀬署長、岩井支部長、後列左より石田支部長代行、協会本部古屋事務局長、藤沢労基署小野安全衛生課長、通山副支部長、森副支部長代行

カントーテクノ株式会社

カントーテクノ(株)では、パブリック向システムトイレの部品製造、組立を行っております。部品製造にはタレットパンチプレス、プレスブレーキ等の設備を使用しており、誤った取扱いにより大きな災害を起こす危険性が有りますが、作業者への安全教育を徹底し他に設備点検表にて設備の点検・異常チェック、安全チェック表を基に安全管理者の巡回を日々実施し、5S活動の推進と共に安全意識を高め、無災害を継続しております。

コワーテック株式会社 湘南事業所

コワーテック㈱では、官公庁や民間向けの特種車（働くクルマ）の製造・販売を行っています。毎月の安全衛生委員会では、危険個所や改善点を洗い出し、対策前後の記録を写真に残すなど、徹底した安全対策を行っています。又、従業員に安全教育の研修を受講してもらい、各個人が基本を守り安全に対する意識向上に繋げています。新入社員には、板金学校を開校し、安全を含めた基礎教育を行っています。

東京応化工業株式会社 湘南事業所

東京応化工業㈱湘南事業所は、一般機械器具製造業として半導体製造用装置等の開発、設計、製造、販売、据付、およびアフターサービスを行っております。重大災害につながり得る産業用ロボットの取り扱いもあり、従業員およびユーザーの安全確保のために日々リスクアセスメントおよび対策の実施に努めております。このたび関係各位のご指導ご協力のもと無災害4年を達成することができました。今年はISO45001の認証取得のための活動も進めており、ますます安全衛生活動を活発化させていく所存です。

有限会社山下鋳金工業

(有)山下鋳金工業では、自動車関連と鉄道車両関連の製造を行っております。金型製作から一貫しての試作も小ロットから製造が可能です。人が乗車する部品ですので熟練の技術を持った職人が品質には自信を持って製造しています。安全面では、部品の製造は工作機械やホイストを使った作業が多い為危険が多いですが、朝礼で安全確認の実施や声を掛け合うなどの安全意識を高めさせています。無災害を達成出来た事に嬉しく思います。

UTパベック株式会社 プロダクトサービス本部 湘南事業所

当事業場では、ハイブリッド用車載電池の製造請負と、電池事業に特化した派遣事業を行っています。請負職場においては、電池部材を原材料の調合から一貫製造しております。重量物やアルカリ液などの危険物を取り扱う職場ではありますが、不安全行動に対しては、本人の為にも厳しく指導を行っています。また、『見て見ぬふりは決してしない事。』と教えていました。その積み重ねで無災害記録9年を達成する事が出来ました。

講習会実施報告(2020年12月～2021年4月)

2020年12月から2021年4月に、藤沢支部が主催した講習会の概要を報告します。

第4回・第5回・第6回 職長教育

2020年12月2日(水)、3日(木)：17社29名参加

2021年1月26日(火)、27日(水)：9社16名参加、2021年2月16日(火)、17日(水)：12社18名参加

労働安全衛生法第60条に「新たに職務につくこととなった職長、その他の作業中の労働者を直接指導又は監督する者（作業主任者を除く。）に対し、（中略）安全又は衛生のための教育を行なわなければならない」と定められており、法令に沿った形での職長教育を実施しました。

第2回アーク溶接等の業務に係る特別教育

2020年12月15日(火)～17日(木)：8社15名参加

安全衛生特別教育規程第4条「アーク溶接等の業務に係る特別教育」に定めており、法令に沿った形で実施しました。

第1回KYT（危険予知訓練）講習会

2020年12月18日(金)：12社22名参加

災害を未然に防止するための有効な手段として挙げられているKYT（危険予知訓練）について、現場作業に即した形で行い、身に付けていただくことを目的として、本講習を実施しました。

第2回リスクアセスメント講習会

2021年1月20日(水)：9社19名参加

労働災害を防止するため、事業者は自主的に事業場における危険性又は有害性等の調査を実施し、リスクの低減や除去することで労働災害発生の可能性を低下させることが必要とされており、そのための手法である「リスクアセスメント」を習得するために実施しました。

第4回粉じん作業特別教育

2021年1月21日(木)：11社25名参加

粉じん障害防止規則で義務付けられている「特定粉じん作業に従事する者」に対する特別教育を実施しました。

第7回フルハーネス型墜落制止用器具特別教育

2021年2月1日(月)：14社23名参加

2019年2月1日より、高さ2m以上の高所において、作業床を設けることが困難な場合は、「フルハーネス型墜落制止用器具」の使用が義務付けられました。これに伴い、法定のカリキュラムに基づいた特別教育を実施しました。

労務管理実務研修会

2021年3月10日(水)：20社24名参加

最近の労働行政・雇用情勢・新型コロナウイルス感染症対策等に関連した労務管理の情報提供を目的とし、「新型コロナ感染拡大防止対策の課題と対応について」「溶接ヒュームに関する法改正について」をテーマにセミナーを実施しました。

新入社員等安全衛生教育

2021年4月9日(金)：17社45名参加

労働安全衛生規則第35条に定められた「新入社員」及び「作業内容変更者」に対し、安全衛生関連法令や安全衛生の基本について安全衛生教育を実施しました。

〔当面の支部行事予定〕

○衛生推進者養成講習	6月2日(水)	会場：藤沢市建設会館4階大会議室
○安全衛生推進者養成講習(2日間)	6月2日(水)～3日(木)	会場：藤沢市建設会館4階大会議室
○第94回全国安全週間 湘南地区推進大会(他団体共催事業)	6月10日(木)	会場：藤沢市民会館小ホール
○リスクアセスメント研修(第1回)	6月15日(火)	会場：藤沢市建設会館4階大会議室
○フルハーネス型墜落制止用器具特別教育(第2回)	6月22日(火)	会場：藤沢市建設会館4階大会議室
○低圧電気取扱業務特別教育(学科のみ)	6月23日(水)	会場：藤沢市建設会館4階大会議室
○職長教育(2日間)(第2回目)	6月28日(月)～29日(火)	会場：藤沢市建設会館4階大会議室
○粉じん作業特別教育(第1回目)	6月30日(水)	会場：藤沢市建設会館4階大会議室
○フォークリフト(最大荷重1t以上)運転業務従事者安全教育	7月5日(月)	会場：藤沢市建設会館4階大会議室
○KYT(危険予知訓練)研修	7月6日(火)	会場：藤沢市建設会館4階大会議室
○フルハーネス型墜落制止用器具特別教育(第3回)	7月19日(月)	会場：藤沢市建設会館4階大会議室
○職長の能力向上教育(第1回目)～製造業における職長等に対する能力向上教育～	7月20日(火)	会場：藤沢市建設会館4階大会議室
○職長教育(2日間)(第3回目)	7月27日(火)～28日(水)	会場：藤沢市建設会館4階大会議室
○粉じん作業特別教育(第2回目)	8月27日(金)	会場：藤沢市建設会館4階大会議室
○フルハーネス型墜落制止用器具特別教育(第4回)	8月31日(火)	会場：藤沢市建設会館4階大会議室

安・健・快 雜感

先日、子供から「ママが思う健康って何?」と聞かれた、学校で健康について授業が有ったとの事。私は「美味しいご飯が食べられて、楽しい事は楽しいと感じ、心から笑える事。」と答えた。ご飯が美味しいのは体が元気という事、楽しいと感じて心から笑えるのは心が元気という事、この体と心のバランスが保たれた状態が健康だと思う。

私は10年前乳がんになった、今年の7月の検査で何もなければ寛解となる。

治療は手術、抗がん剤、放射線のフルコース。それでも休職をする事も無く今まで仕事を続けられたのは、職場の同僚や上司、会社の理解が有ったから、そして家族が一緒にこの病気と闘ってくれたから今の私が有ると思う。これからも私を支えてくれている人達に感謝をしつつ、健康に生きていきたいと改めて思った質問だった。

私が勤めている藤沢事業場では、3年前から社内で年に1回乳がん検診を実施している。最初は受け入れてもらえるか不安だった、1年目

オイレス工業株式会社
斎藤 恵



は保健師と女性従業員へ検診や早期発見の大切さの講習会を開いた、私の経験も話した、皆真剣に話を聴いてくれた。1年目はエコーのみを実施、今は40歳以上の方にはマンモグラフィーも実施している。毎回約9割の受診率となっていて、女性従業員の乳がんへの意識が高くなっていると感じる。今後の夢は全事業場で乳がん検診が実施される事。私は経験を活かし、彼女たちがいつまでも健康でいられる様にお手伝いが出来れば嬉しく思う。



[新規入会員紹介]

- 湘南技術・安全コンサルタントオフィス
- あすか製薬(株)湘南研究所

茅ヶ崎市浜竹1-13-38
藤沢市村岡東二丁目26番地1

労働安全コンサルタント業
医薬品等の研究



[編集後記]

新型コロナウイルスに翻弄され、1年以上もの時間が過ぎた。外出自粛は皆に課せられ、不自由を感じつつも幸い仕事・収入面等に大きな変化もない人がいる一方で、生活が激変した人も多くいたのも事実である。自粛生活を上手に過ごせた人ばかりとは限らない。精神衛生上、健全に豊かな生活を過ごせたか否かに大きな差が生じ、真面目で実直な人が体調を崩すようなケースは気の毒に他ならない。ウイルスという

敵は感染・後遺症の恐れだけに留まらず、メンタル不全を含めた健康被害への影響は本当に計り知れない。

日々、新規感染者数の報道を見る度、改めて自問自答したい。社会規範を守り・人を気遣い・自分を気遣い・心のゆとりや豊かな気持ちで生活することの大切さとその意味を。

〈広報部会：新明和工業(株) 島田〉